学校番号	T3017

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	（学）暮らしの情報	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	教員作成プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

①適切な情報伝達を実現するために必要な技能を習得し、理解を深める。
②日常起こりうる情報伝達やコミュニケーションの課題を発見し、その解決に向けて情報伝達や情報デザインの技術を適切かつ効果的に用いる力を養う。
③情報伝達やコミュニケーションの場面において情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報化社会に主体的に参画する態度を養う。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
情報や情報技術などの活用を通して、情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得させる。
【思考力、判断力、表現力等】
様々な事象と情報との結び付きを捉え、問題の発見・解決に向け、情報や情報技術を効果的に活用している。また、結果などが必要になるについては、適切に表現している。
【学びに向かう力、人間性等】
情報化が社会に及ぼす影響を理解させ、ネットワークを利用して効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報化社会に積極的に参加する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	適切な情報伝達を実現するために必要な技能を、実習を通して理解し、関連する技術、情報活用能力を身に付ける。	日常起こりうる情報伝達やコミュニケーションの課題を発見し、その解決に向けて情報伝達や情報デザインの技術を適切かつ効果的に用いている。	情報伝達やコミュニケーションの場面においての情報化社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価改善しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	文書処理ソフトの活用	・情報伝達のための文書処理ソフトの活用	a:効果的な情報伝達を行うために文書処理ソフトでできる手段や表現方法について理解している。 b:効果的な情報伝達を行うために、適切な表現形式や方法を考え、判断している。 c:文書処理ソフトの機能の意味、適切な表現形式などに関心を持っている。適切な情報伝達について関心を持ち、適切に情報発信しようとしている。	ワークシート パフォーマンス課題	ワークシート パフォーマンス課題	ワークシート
	コンピュータ操作における効率的な操	・キーボードのキーの役割について ・効率的なコンピュータ操作	a:キーボードのキーの役割についての知識を確認するとともに、効率的なコンピュータ操作方法について理解している。 b:状況に応じて必要となる適切な操作を考え、判断している c:キーの役割や操作方法によって、コンピュータでどのように表現されるか関心をもっている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
後期	プレゼンテーションソフトの活用	・情報伝達のためのプレゼンテーションソフトの活用	a:プレゼンテーションソフトでできる手段や表現方法について理解している b:効果的な情報伝達を行うために、プレゼンテーションソフトを用いて適切な表現形式や方法を考え、判断している。 c:プレゼンテーションソフトの活用方法を身に付けようとしている。プレゼンテーションソフトを用いて受け手にわかりやすく表現しようとしている。	ワークシート パフォーマンス課題	ワークシート パフォーマンス課題	ワークシート

	表計算ソフトの活用	・情報伝達のための表計算ソフトの活用	a:効果的な情報伝達を行うために表計算ソフトでできる手段や表現方法について理解している。 b:効果的な情報伝達を行うために、適切な表現形式や方法を考え、判断している。 c:表計算ソフトの機能の意味、適切な表現形式などに関心を持っている。適切な情報伝達について関心を持ち、適切に情報発信しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度